

冬休みの生活

子どもたちが心待ちにしていた冬休みがやってきます。お正月という楽しい行事をはさんだ長い休みです。

安全で楽しく意義のあるくらしができるようにと願って、児童への指導をした内容です。参考にしていただければと思います。



- それぞれの家庭の事情に合わせて日課表や予定表などを作り、しっかり実行しましょう。
- 寒さに負けず、スキーやスケートなど北国のスポーツを楽しみながら、体をきたえましょう。
- 自分の力に合わせて学習の計画を立て、自分の力で進めていくよう工夫や努力をしましょう。
- 家の人とよく話し合って、家事などのお手伝いの内容を決め、進んで実行しましょう。
- スキー、スケートなどでは、けがをしないよう十分に気をつけましょう。

<学習>

- ・ 休み中でなければできない自由研究や、今まで習ったことの復習や予習など、自分の力に合わせた計画を立て、最後までがんばりましょう。
- ・ 北国の環境を利用して、スキー・スケートなどで体力作りや健康作りに進んで取り組みましょう。
- ・ 読書の計画を立て、できるだけたくさんの本を読みましょう。
- ・ 地域などの行事には、進んで参加しましょう。



<生活・遊び>

- ・ 冬型の交通事故にあわないように、十分注意しましょう。
 - * 道路でのスキー・ボブスレー遊びはぜったいにしない。
 - * 道路に面した雪山に登ったり、すべり降りたりしない。
 - * 雪山のかけから出るときは、左右をよくたしかめ、車に十分注意する。
 - * 冬道では車はすぐに止まれないことを、いつも頭に入れておく。
- ・ 校区外へ出かけるときは、家人とよく相談して、許可をもらってから出かけましょう。映画館は保護者同伴が望ましいです。カラオケやゲームセンターは保護者同伴でも望ましくありません。
- ・ 外出する時は、行き先・帰る時刻などを家人に知らせ、約束した時刻には必ず帰るようにしましょう。
- ・ **午後4時まで**には家に帰りましょう。
- ・ よその家に行った時や、家にお客さんが来た時は、きちんとあいさつをしましょう。
- ・ 友だちの家に遊びに行く時は、礼儀正しくし、めいわくをかけないよう落ち着いた行動をとりましょう。
- ・ スキー・スケート場などではきまりを守り、事故がおきないように気をつけましょう。
- ・ 危険な所には近寄らないようにしましょう。とくに、屋根から雪や氷が落ちてくることがありますから十分気をつけましょう。
- ・ お金のむだ使いをしないように、家人とよく話し合って使いましょう。
- ・ 用事がないのに、スーパーなどに出入りするのはやめましょう。
- ・ 虫歯や体の悪い所は、できるだけ早く通院して、健康な体にしましょう。
- ・ 暗くなってからの一人歩きはやめましょう。見知らぬ人と接する時は、十分注意しましょう。

